Azure で 自然言語ソリューション を開発する



Azure で自然言語ソリューションを開発する

目次

- Azure Al Language を使用してテキストを分析する
- Azure Al Language を使用して質問応答ソリューションを作成する
- カスタムテキスト分類ソリューションを作成する
- Azure AI サービスを使用して音声対応アプリを作成する
- オーディオ対応のジェネレーティブ AI アプリケーションを開発する

目次



Azure Al Language

- Azure Al Language を使用してテキストを分析する
- Azure Al Language を使用して質問応答ソリューションを作成する
- ・カスタム テキスト分類ソリューションを作成する
- Azure AI サービスを使用して音声対応アプリを作成する
- オーディオ対応のジェネレーティブ AI アプリケーションを開発する



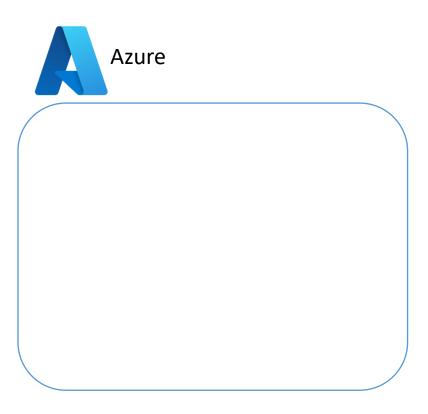


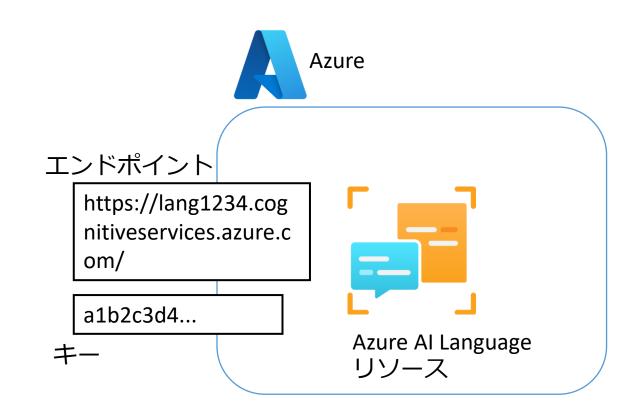
モジュール1

- Azure Al Language を使用してテキストを分析する
- Azure Al Language を使用して質問応答ソリューションを作成する
- カスタム テキスト分類ソリューションを作成する
- Azure AI サービスを使用して音声対応アプリを作成する
- オーディオ対応のジェネレーティブ AI アプリケーションを開発する

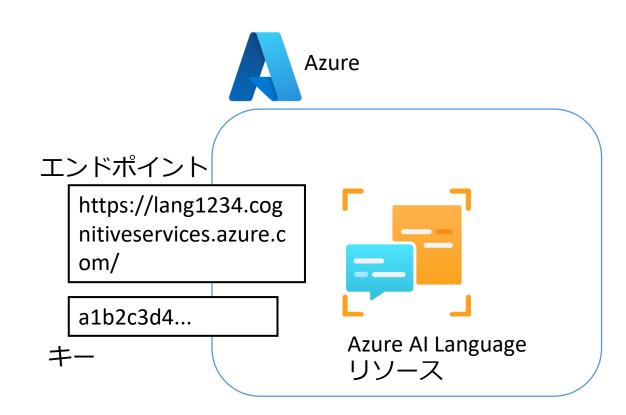
テキスト分析とは?

- 自然言語処理(Natural Language Processing)のAIサービス
- 言語の判定、キーフレーズ抽出、感情分析、エンティティ認識、 要約などのテキストの処理・分析機能を提供
- マイクロソフトが開発した機械学習モデルを使用している

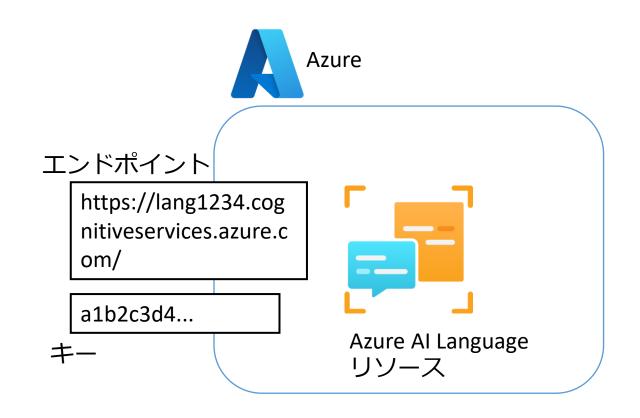




C# / Python アプリ



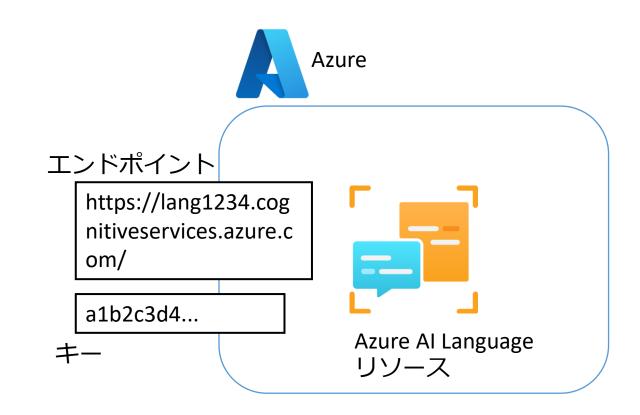
C# / Python アプリ https://lang1234.c エンドポイント ognitiveservices.az ure.com/ a1b2c3d4...

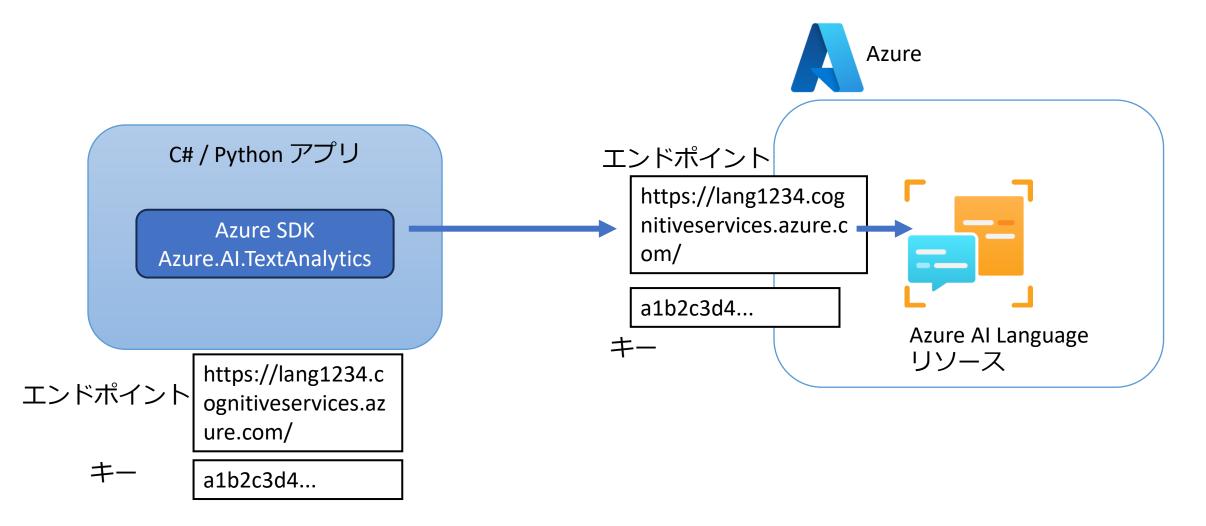


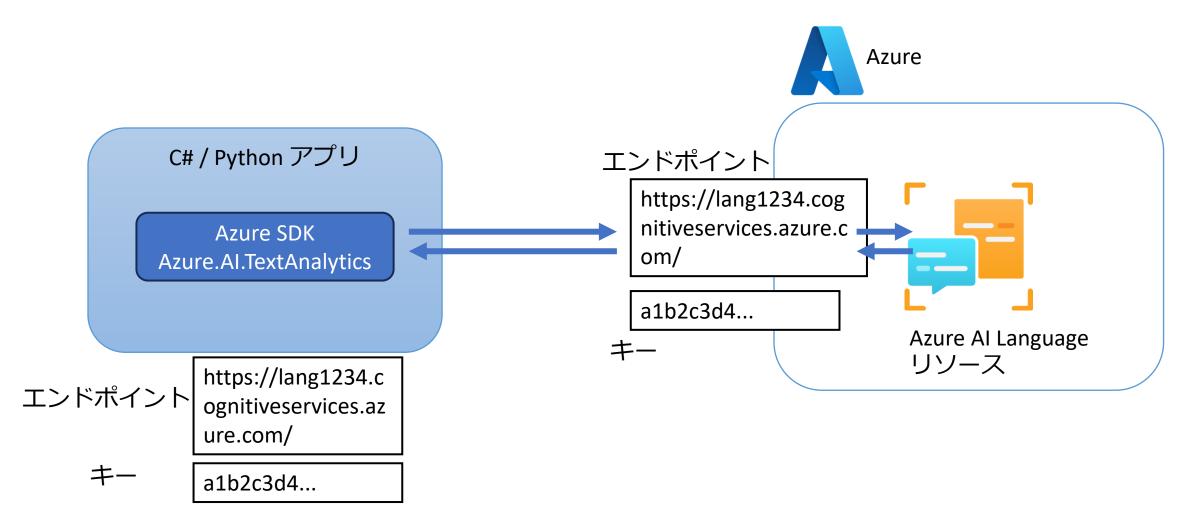
C# / Python アプリ

Azure SDK
Azure.Al.TextAnalytics

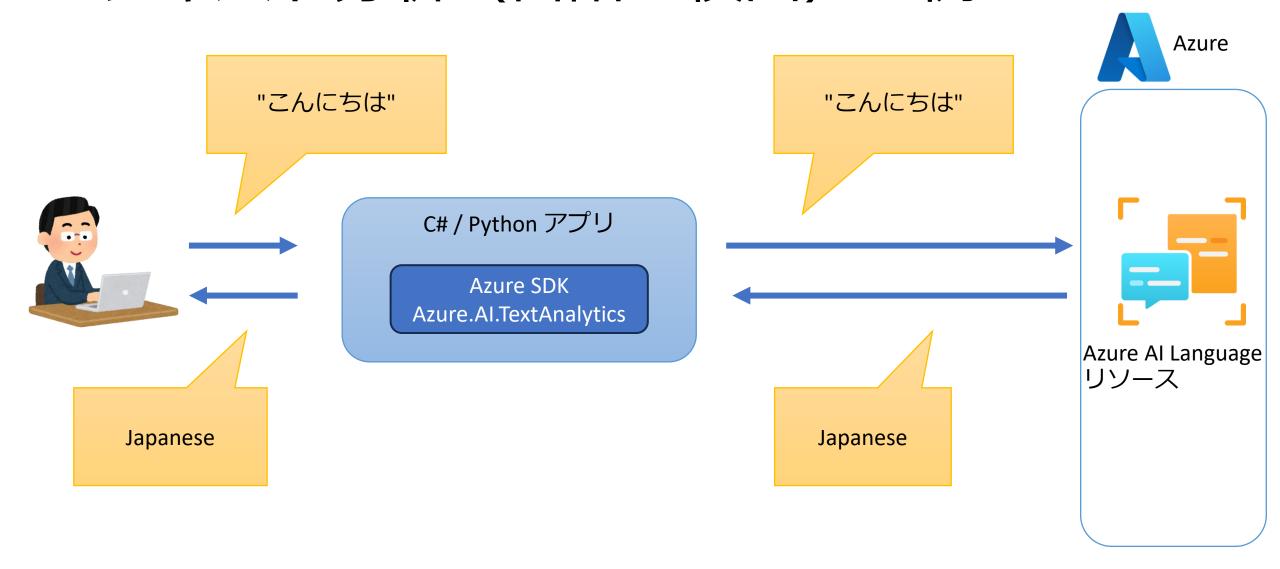
エンドポイント https://lang1234.c ognitiveservices.az ure.com/ a1b2c3d4...



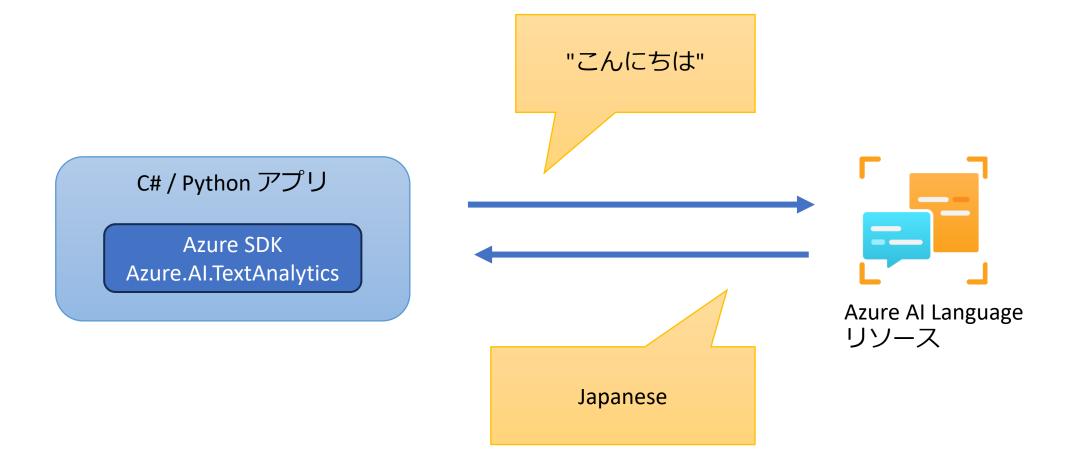




テキスト分析 (言語の検出)の例



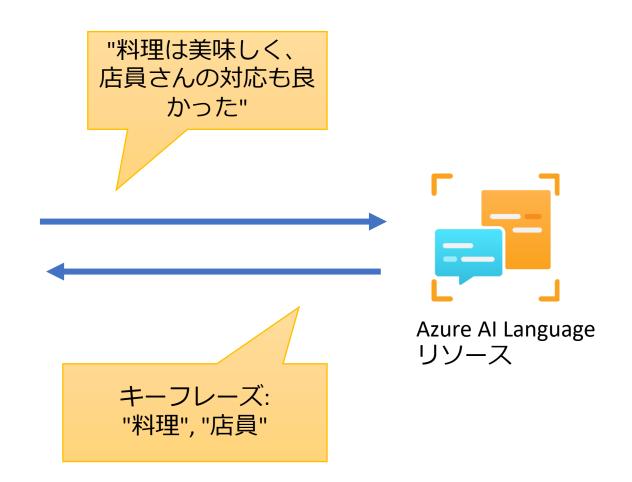
テキスト分析(言語の検出)の例



テキスト分析(キーフレーズ抽出)の例

C# / Python アプリ

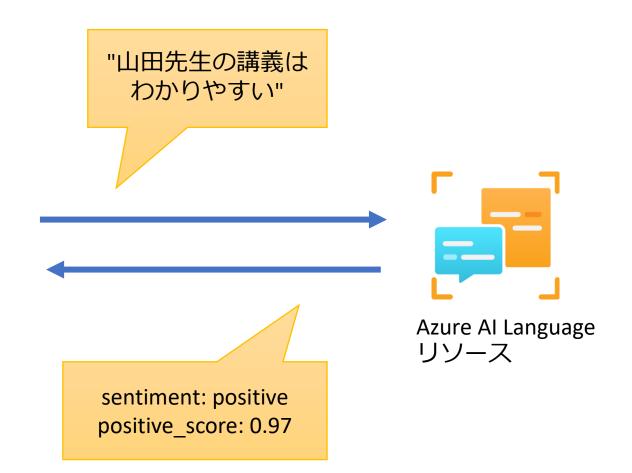
Azure SDK
Azure.AI.TextAnalytics



テキスト分析(感情分析)の例

C# / Python アプリ

Azure SDK
Azure.AI.TextAnalytics



テキスト分析(エンティティ認識)の例

C# / Python アプリ

Azure SDK Azure.AI.TextAnalytics

"私は先週登別温泉 に旅行に行った" Azure Al Language リソース "先週": DateTime "登別温泉": Location

"旅行": Event

テキスト分析 (エンティティリンキング)の例

"私は先週登別温泉 に旅行に行った" C# / Python アプリ **Azure SDK** Azure.AI.TextAnalytics Azure Al Language リソース

"登別温泉": "https://ja.wikipedia.org/wiki/登別温泉"

※ 実際には英語とスペイン語のみ対応。 上記の実行例は説明用のイメージ。

テキスト分析 (サマライゼーション) の例

C# / Python アプリ

Azure SDK

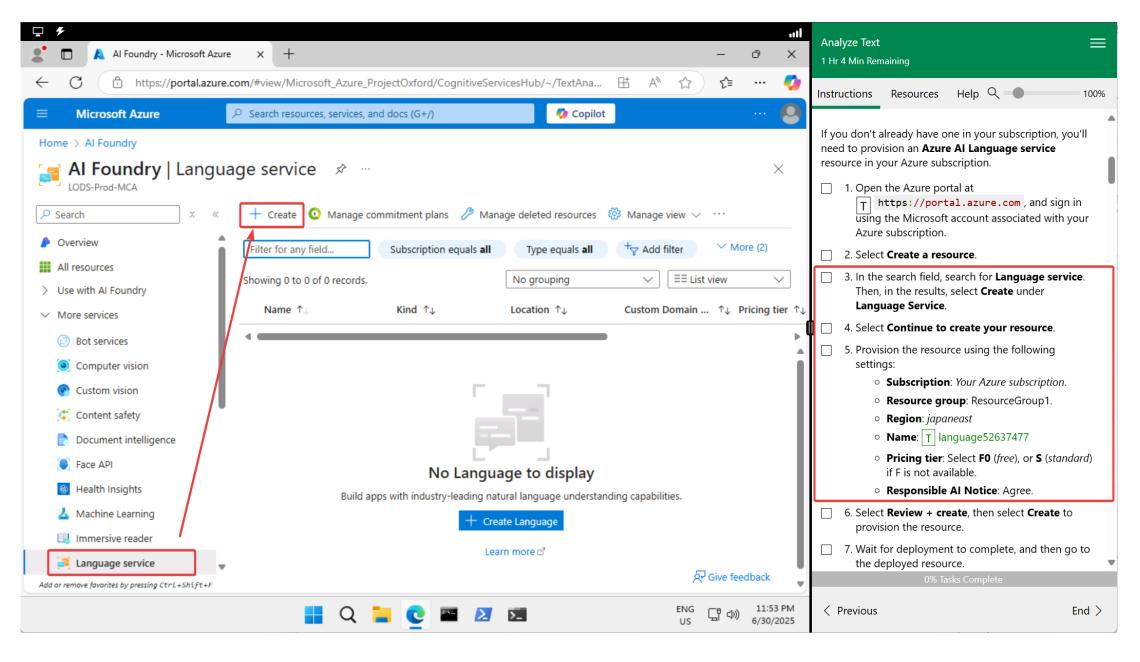
Azure.AI.TextAnalytics

"AIは情報処理を効率化します。これは多 くの業界で活用されています。AIは多くの 分野で効率化に役立っています" Azure Al Language リソース

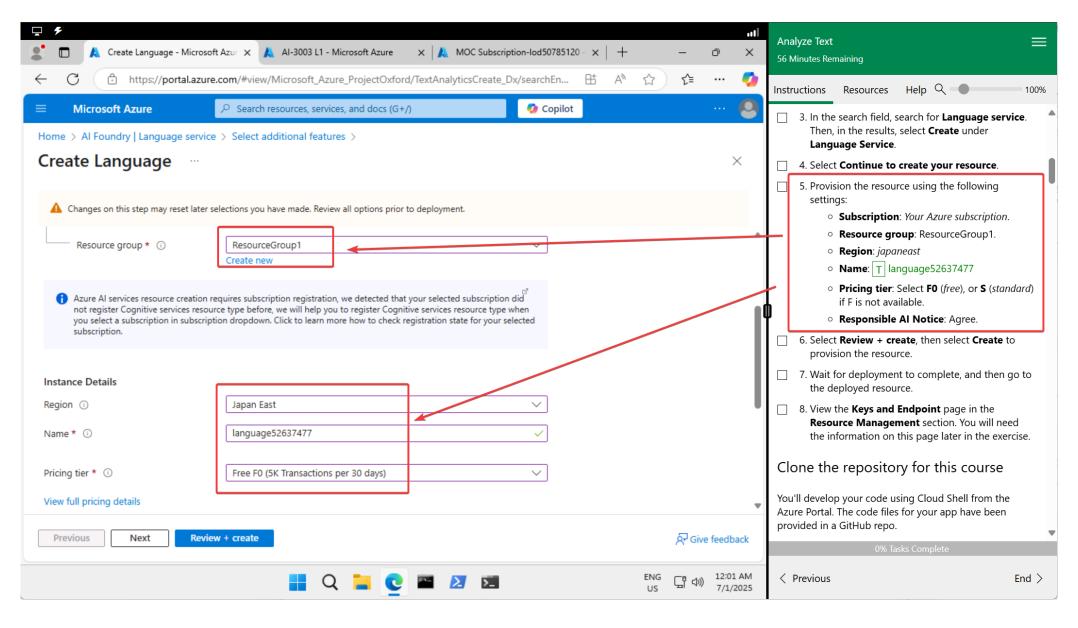
"AIは多くの業界で情報処理の効率化に役立っています"

※ Abstractive Summarization の例。 与えられた文章から意味的に近い要約文を生成。

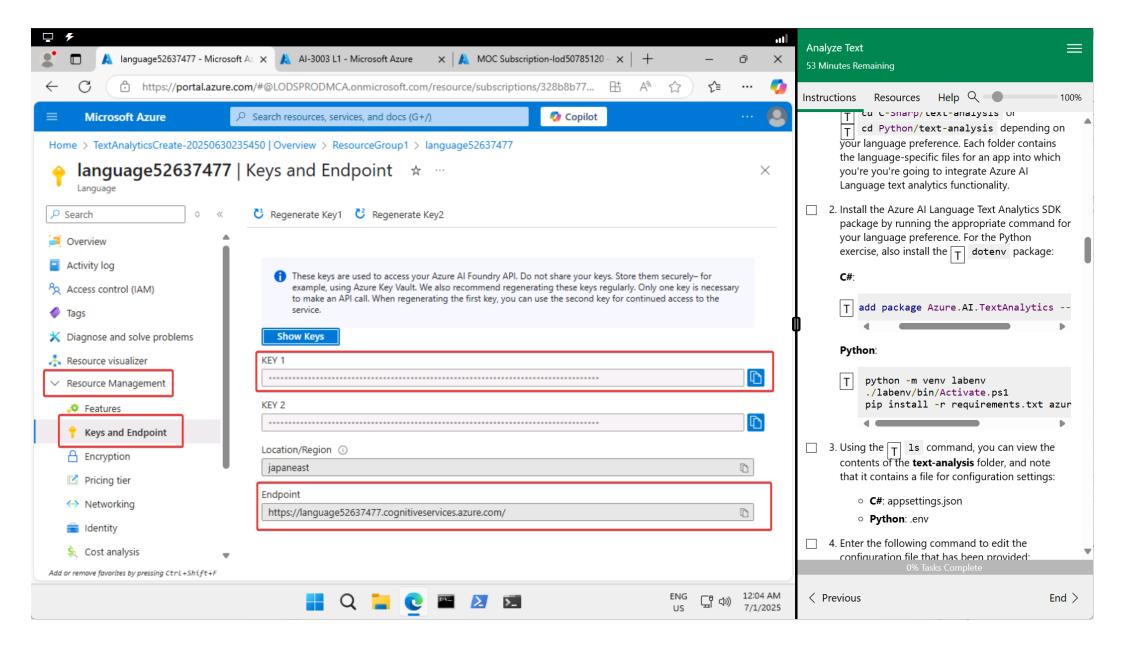
■「Azure Al Languageサービス」リソースの作成



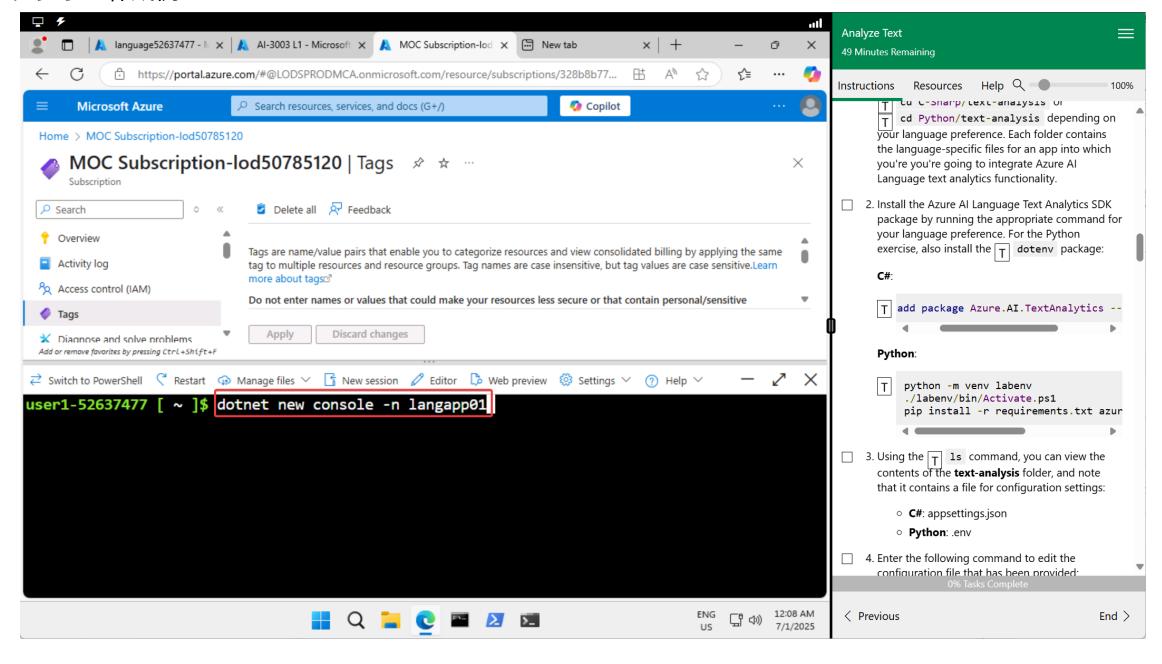
■「Azure Al Languageサービス」リソースの作成例



■リソースのキーとエンドポイントをコピー



■ C# アプリの作成例



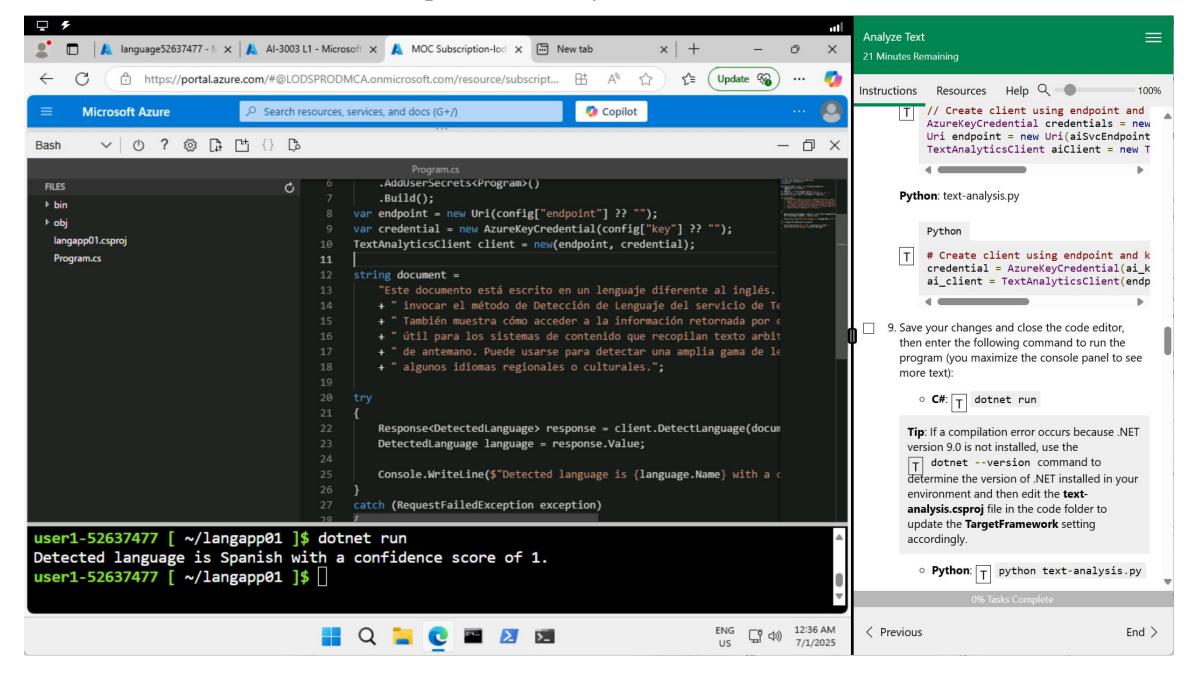
C#アプリ作成例

```
# プロジェクトを作成
dotnet new console
 「Azure AI Language」にアクセスするためのSDKをプロジェクトに追加
dotnet add package Azure.AI.TextAnalytics
# 環境変数に、エンドポイントとキーをセット
setx LANG_ENDPOINT "(エンドポイント)"
setx LANG KEY "(丰一)"
```

C#アプリのコード (言語の検出)

```
// 環境変数からエンドポイントとキーを取得
var endpoint = Environment.GetEnvironmentVariable("LANG ENDPOINT") ?? "";
var key = Environment.GetEnvironmentVariable("LANG KEY") ?? "";
// Azure AI Language クライアントを作成
TextAnalysisClient client = new(
  new Uri(endpoint), new AzureKeyCredential(key));
// テキストの言語を検出
DetectedLanguage result = client.DetectLanguage("こんにちは");
// 結果を表示
Console.WriteLine(result.Language); // Japanese
```

■ C# アプリからの利用例(「言語の検出」の実行結果例)



モジュール2

- Azure Al Language を使用してテキストを分析する
- Azure Al Language を使用して質問応答ソリューションを作成する
- ・カスタム テキスト分類ソリューションを作成する
- Azure AI サービスを使用して音声対応アプリを作成する
- オーディオ対応のジェネレーティブ AI アプリケーションを開発する

「質問応答」とは?

- 自然言語処理(Natural Language Processing)のAIサービス
- あらかじめ、「よくある質問と回答」などの資料を読み込んで 「ナレッジベース」を構築しておく
 - ナレッジベースは多数の「質問と回答のペア」を含む
- ユーザーからの質問に対し、ナレッジベースを検索することで、 関連性が高い回答を探し出し、回答する
 - ナレッジベースにない情報は答えることができない
- ・このサービスでは生成AIは使用していない
 - このサービスは生成AI登場以前から存在する

ご参考

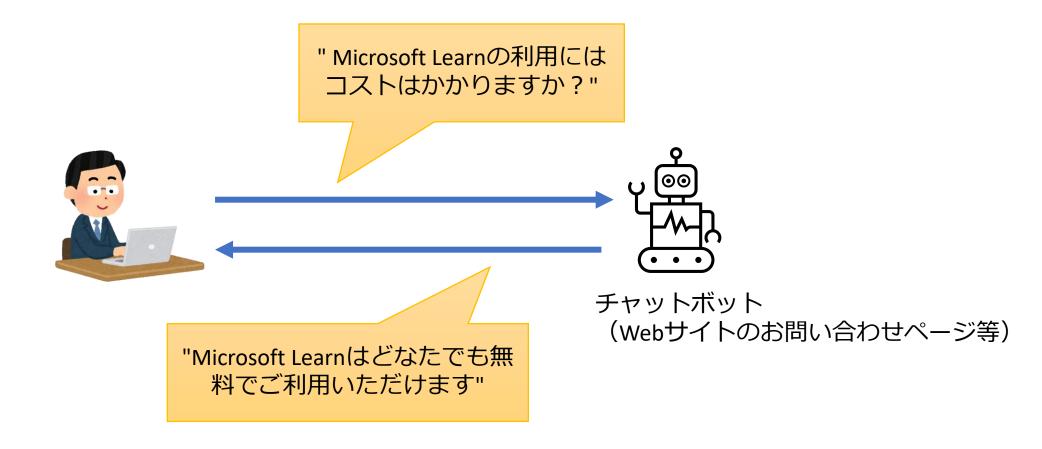
- Question Answering の前身である QnA Maker (Azure Cognitive Service の一部)は、**2018年5月**に一般提供開始
 - チャットボットがユーザーからのさまざまな質問に回答できるようにするための仕組みとして、昔から QnA Maker や Question Answeringが使用されていた
- GPT-3.5などの生成AIが利用できる Azure OpenAI Service は **2023 年1月**に一般提供開始
 - 生成AIを使ってチャットボットやエージェントが構築できるように なったのはここ数年のこと
 - 生成AIは QnA Maker や Question Answering よりも高度なしくみ

https://azure.microsoft.com/en-us/blog/general-availability-of-azure-openai-service-expands-access-to-large-advanced-ai-models-with-added-enterprise-benefits/

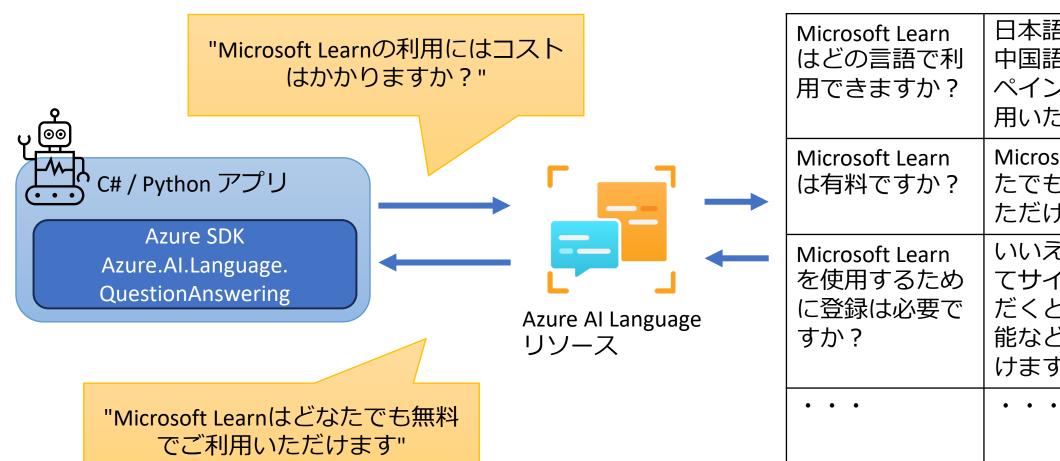
https://azure.microsoft.com/en-us/updates?id=microsoft-cognitive-services-qna-maker-api

質問応答(Question Answering)の 利用イメージ

※「カスタム質問応答」とも呼ばれる



質問応答(Question Answering)の内部構成



| Microsoft Learn はどの言語で利 用できますか? | 日本語、英語、韓国語、 中国語、ロシア語、ス ペイン語・・・でご利 用いただけます |
|--|---|
| Microsoft Learn は有料ですか? | Microsoft Learnはどな たでも無料でご利用い ただけます |
| Microsoft Learn を使用するため に登録は必要で すか? | いいえ、ただし登録し てサインインしていた だくとブックマーク機 能などをご利用いただ けます |
| • • • | • • • |

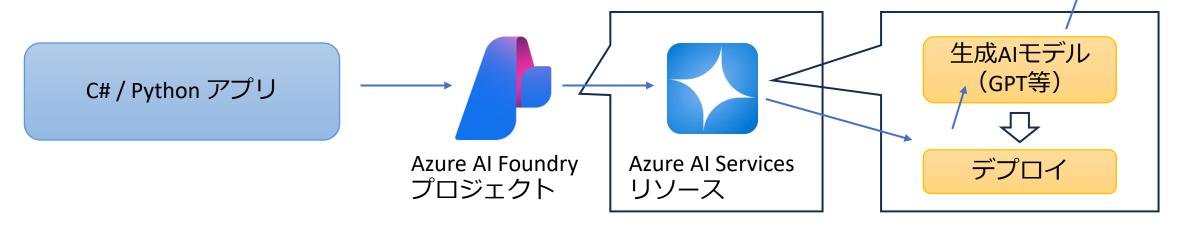
ナレッジベース (事前に構築しておく)

生成AI vs 質問応答

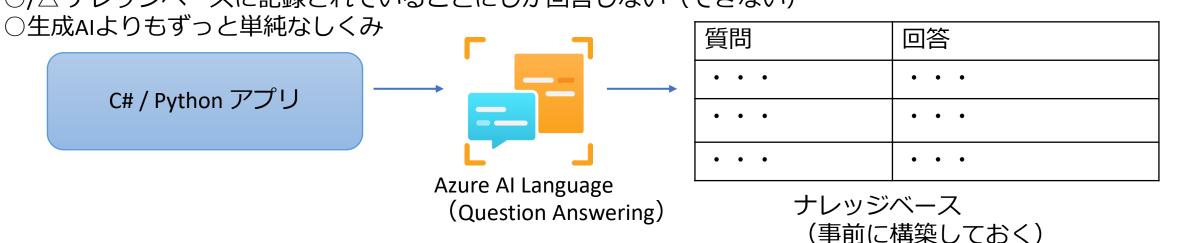
■生成AIモデルを使用した場合: 生成AIモデルの学習済みの知識から回答が「生成」される

◎ さまざまな質問に柔軟に回答できる。RAGを構成すれば接続したデータに基づく回答も可能

△ハルシネーション対策、セキュリティ対策、悪用対策などが必要、比較的高コスト



■**「質問応答」を使用した場合**: あらかじめ準備されたナレッジベースから、関連性が高い回答が「検索」される ○/△ ナレッジベースに記録されていることにしか回答しない(できない)



モジュール3

- Azure Al Language を使用してテキストを分析する
- Azure Al Language を使用して質問応答ソリューションを作成する
- カスタム テキスト分類ソリューションを作成する
- Azure AI サービスを使用して音声対応アプリを作成する
- オーディオ対応のジェネレーティブ AI アプリケーションを開発する

カスタムテキスト分類 (単一ラベル分類)の例

"地球温暖化が進行し、海面が都市を飲み込む時代。かつて科学者だった女性は、無人の研究施設でただ一人、失われた技術の再構築に挑む。だが彼女の前に現れたのは、記録にはない謎の存在と、かつての家族の記憶だった。"

C# / Python アプリ
Azure SDK
Azure.Al.TextAnalytics

Azure Al Language
リソース

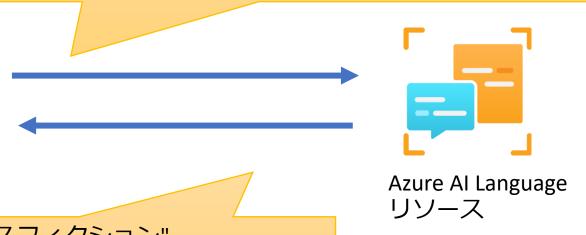
※ 複数の「ラベル」(映画ジャンル)候補から1つのラベルを選択

カスタムテキスト分類 (複数ラベル分類)の例

"地球温暖化が進行し、海面が都市を飲み込む時代。かつて科学者だった女性は、無人の研究施設でただ一人、失われた技術の再構築に挑む。だが彼女の前に現れたのは、記録にはない謎の存在と、かつての家族の記憶だった。"

C# / Python アプリ

Azure SDK
Azure.AI.TextAnalytics



"サイエンスフィクション"
"サスペンス"
"ヒューマンドラマ"

※ 複数の「ラベル」(映画ジャンル)候補から複数のラベルを選択

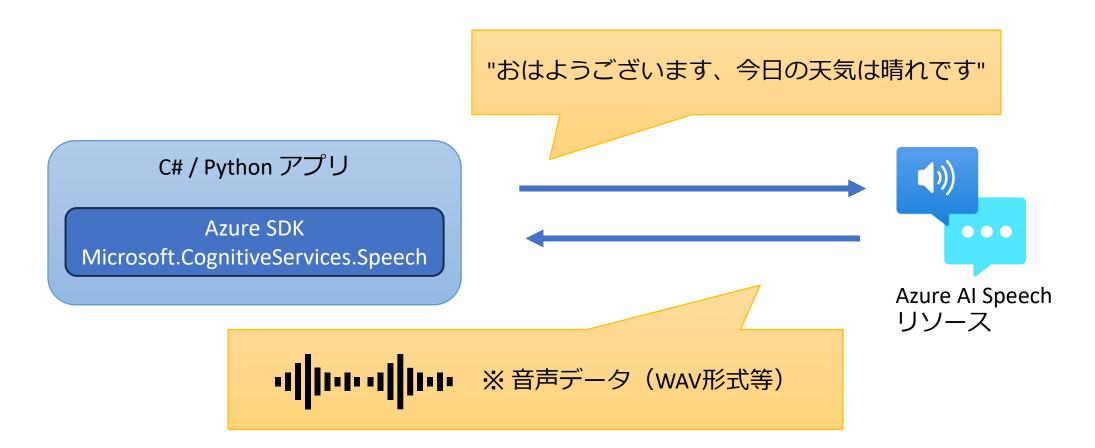
モジュール4

- Azure Al Language を使用してテキストを分析する
- Azure Al Language を使用して質問応答ソリューションを作成する
- ・カスタム テキスト分類ソリューションを作成する
- Azure AI サービスを使用して音声対応アプリを作成する
- オーディオ対応のジェネレーティブ AI アプリケーションを開発する

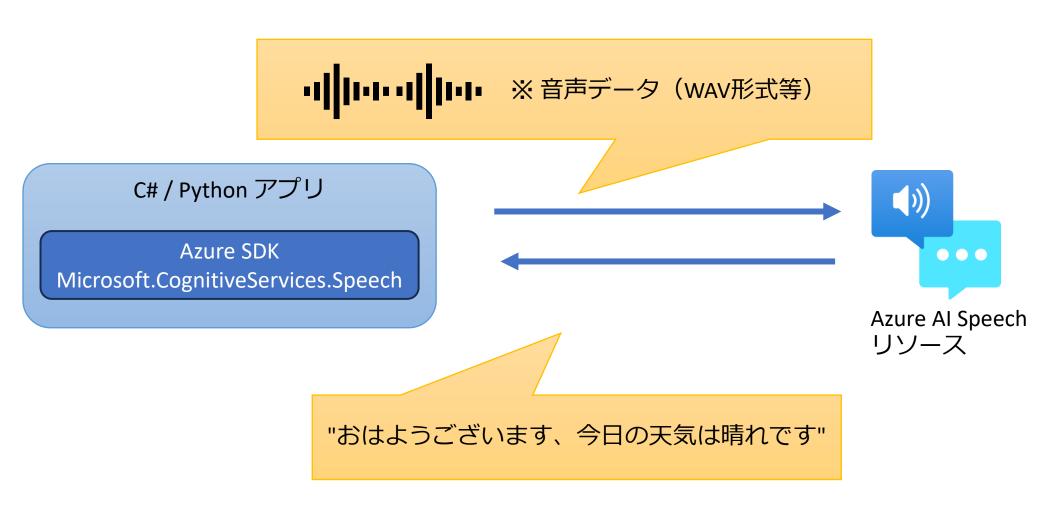
「Azure Al Speech」とは?

- 音声関連の処理を提供するサービス
- テキスト読み上げ
 - テキストから音声を生成する
 - 「読み上げ」を行う
 - Text to speech(TTS)とも
- 音声テキスト変換
 - 音声からテキストを生成する
 - 「文字起こし」を行う
 - Speech to Text (STT) とも
- 同時に翻訳処理なども実行できる

Azure Al Speech (テキスト読み上げ)の例



Azure Al Speech (音声テキスト変換) の例

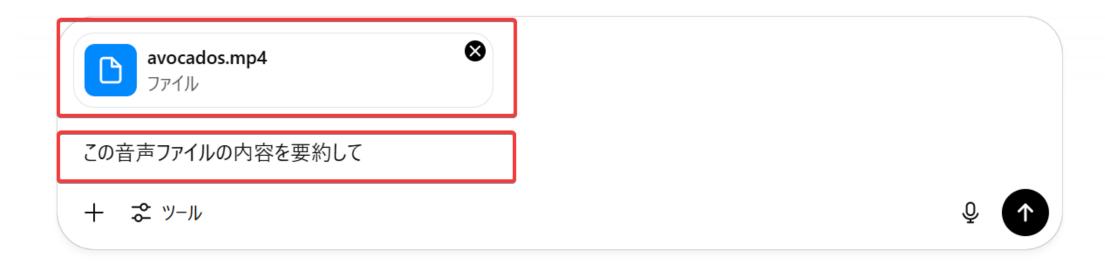


モジュール5

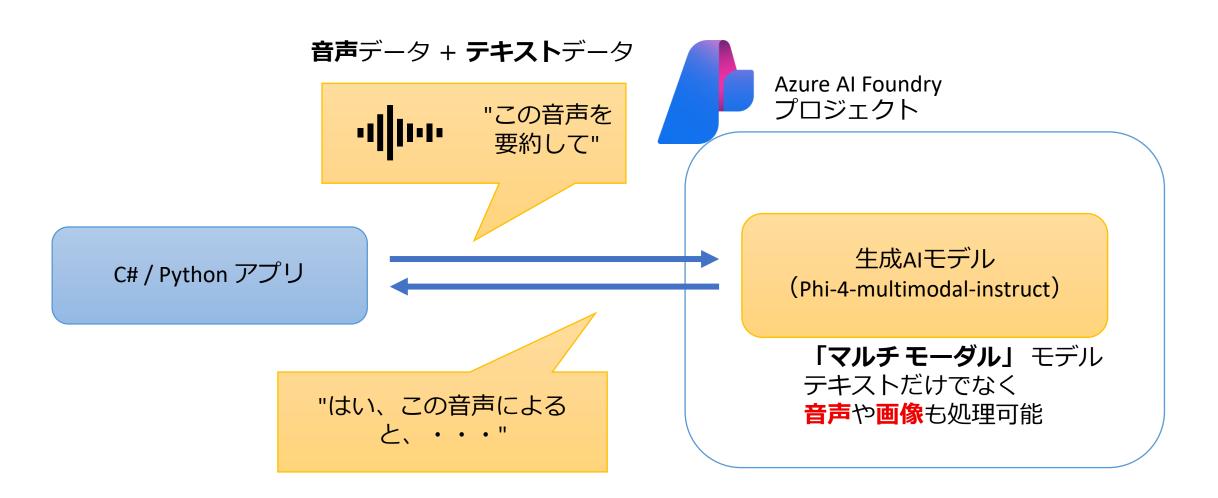
- Azure Al Language を使用してテキストを分析する
- Azure Al Language を使用して質問応答ソリューションを作成する
- ・ カスタム テキスト分類ソリューションを作成する
- Azure AI サービスを使用して音声対応アプリを作成する
- オーディオ対応のジェネレーティブ AI アプリケーションを開発する

「音声対応 生成AIアプリ」のイメージ

お手伝いできることはありますか?



音声対応 生成AIアプリ



マルチモーダル (モデル)

multimodal model

- 複数の種類の情報(モダリティ modality)を同時に扱えるAIモデル
- 「モダリティ」とは、モデルが扱う入力や出力の形式・種類のこと。 例:
 - テキスト(文章や言葉)
 - 画像(写真、イラストなど)
 - 音声(話し声、環境音など)
 - 動画(動きと音を含む情報)
 - ・ センサー情報(位置情報、温度など)

Phi-4-multimodal-instruct

- **マルチモーダル対応**: テキスト、ビジュアル、音声入力をサポートするマルチモーダルモデル
- **高度な推論能力**: 画像や音声入力を組み合わせて高度な推論を 行う
- エッジデバイスへの展開: このモデルは、PC、モバイルデバイス、IoTシステムなどのエッジデバイスに展開可能
- **関数呼び出し機能**: 検索エンジンやさまざまなツールと連携するための関数呼び出し機能をサポート